

2013年度 年刊

六ヶ所村産業協議会 会報

編集/発行:第3委員会

「松井典夫」会長体制 2年目をスタート

平成25年5月22日、定期総会が六ヶ所村文化交流プラザスワンにて開催され、前年度事業・収支報告及び新年度事業・予算計画並びに規約改定が承認され、その後に基づき講演、懇談会が開催された。



本日は大変お忙しい中、平成25年度六ヶ所村産業協議会 定時総会に多数のご出席をいただき、誠にありがとうございました。ご承知のとおり、

通り、六ヶ所村には、原子燃料サイクルを始め様々な国家的プロジェクトが展開されておられるわけでありまして、これらの事業者さんにも是非入会いただきたいこと。また、地元企業の方々にも業種を問わず多くの方々に参加いただき、協議会の活動を通じて親睦・交流を深め、そしてそこにビジネスチャンスが生まれるならば、これはまさに協議会の目的とするところでありまして、改めて入会のご案内を申し上げます。改めまして、新年度30社の新規会員の入会があり、年度当初69社であった会員数が一挙に99社となりました。残念ながら3ヶ所の大会には一歩届かなかったわけでありまして、実は日本原子力研究開発機構、核物質管理センター殿など国の機関にも是非入会いただきたいというところで入会のご案内を申し上げます。是非入会したいが、昨今の厳しい財政状況から入会が難しいという回答をいただいております。しかし、協議会としましては、これら国の機関に入会いただくことは、地元企業さんにとっても大きなメリットが期待されることから、何か入会していただく手だてはないものかと役員会で検討してまいりまして、本日その対応案を総会にお諮りしたいと考えております。

することができました。活動の見え方と情報共有の観点から今後も継続して会報の発行に努めてまいりたいと思っております。また、昨年度、会員意識調査のためのアンケートを実施させていただきまして、入会の目的は、地域への貢献、ビジネスや技術情報収集の場、あるいは営業ツールとしての活用、社員教育及び技術習得の場と捉えている方が上位を占めています。活動に対する満足度は、おおむね満足との意見が多かったのですが、一方では、会費が高い、ビジネスチャンスの場として役立つていないなどの厳しいご意見も頂いております。今後の活動に期待することとしては、技術力向上・資格取得に関する教育の充実、会員相互の情報交換の場を増やしてほしいなどのご意見をたくさんいただきました。ご意見を真摯に受け止め、今後とも会員の皆様方に、より満足いただけるような活動を展開してまいりたいと考えております。

の原子力関連施設の現状を把握することを目的として日本原子力研究開発機構東濃地科学センター及び中部電力浜岡原子力発電所の視察研修を行いました。東濃地科学センターでは、深さ1000mに及ぶ立坑掘削が行われており、高レベル放射性廃棄物の地層処分に関する基礎研究が着々と進められていくことを、また、中部電力浜岡原子力発電所では、高さ22m、長さ1.6kmに及ぶ防波堤の建設など、再稼働に向けた対策工事が急ピッチで進められており、当時の菅元総理が「浜岡は世界一危険な原発である」と発言したことに対し、社員が一丸となって、まさに世界一安全な原発を目指した取り組みが行なわれてきたこと、あり種の感動を覚えて帰ってきた次第であります。実は今年度も7月に東北電力女川原子力発電所を視察する計画をしております。今回は是非会員の皆様方にも参加いただきたく、改めてご案内申し上げます。改めまして、後程、平成25年度の事業予算案をご審議いただきたく、今年度の事業費は前年度に比べて、会員増に伴う収入増により、より充実した事業を実施いたしました。また、研修事業につきましては、会員間に不公平感無くす観点から、受講者負担金の見直しを行いました。いずれにしましても、今年度は会員数も事業予算も大幅に増え、役員一同今まで以上に責任の重大さを感じているところであります。より皆様方のニーズにあった事業を積極的に推進してまいり所存でございます。今後のとも皆様方のご支援、ご協力の程よろしくお願ひ申し上げます。改めまして開会のあいさつとさせていただきます。

特別公演 「福島原発事故は日本人に何を問いかけたか」開催

6月13日、ノンフィクション作家「門田隆将」氏を迎え、講演会を開催する。同氏著書「死の淵を見た男 吉田昌郎と福島第一原発の500日」(出版:PHP研究所)の取材を通して、現場で事故に立ち向かった人達への直接取材経験を持つ。本講演



六ヶ所高校総合学習 「村内企業研究会」への協力

6月18日、全生徒対象とした「第6回 村内企業研究会」が開催されました。当協議会は毎年参加し、今回は22企業(当協議会会員14社含む)参加となりました。本研究会は、生徒の将来の職業選択へ向けたキャリアプランニング能力(働くことへの



意義や役割、将来設計など醸成を目的としており、生徒自身が興味のある各企業のブースを20分ごとに4つ訪問し、事業内容、社会・職業人として要求される人材像等について説明を受けるとともに、自分の進むべき道を探るための質問が活発に交わされた。

協議会員 「県外施設視察研修会」開催

7月25日、26日、会員35名参加により危機管理知識のハード面とソフト面の習得を目的に「東北電力(株)女川原子力発電所」「女川町」及び「東北大学工学部」を訪問し、被災・復興状況と防災・減災対策状況の視察を実施する。

【女川原子力発電所】津幡俊所長をはじめとし、担当者の方々にご対応頂き電力事務棟にて被災状況と安全性向上に向けた取り組みへの説明を受けたのちに、発電施設の見学を実施した。同発電所は設計段階から津波を想定し、敷地高海拔15m弱に発電施設を設置。東日本大震災の震度6弱(地震加速度:5.67・5ガル)と高さ13mの津波に耐え安全機能が健全に作動して原子炉冷温停止状態が保持された。同社のこの安全に向けた思想は、平成25年5月「世界原子力発電事業者協会」より高い評価を受け、「原子力功労賞」を受賞している。その理由は次の3点である。①過去に経験のない巨大地震と津波に対し全号機を冷温停止へ導く。②緊急時対応の事前準備態勢。③周辺住民の発電所構内への避難受入である。 【施設概要】宮城県中部の太平洋沿岸にある牡鹿半島中部に位置し、沸騰水型原子力発電所3基、昭和59年6月に1号機の営業運転を開始し、総定格出力217万4kw 【女川町】女川地域医療センターのある高台にて被災状況と現状について東北電力(株)社員殿より説明を受ける。



同医療センターは海拔16mに位置するが、高さ20m程の津波が押し寄せ、建物1階天井付近まで浸水した。《被害状況》人口1万0014名(平成23年3月11日時点死亡及び行方不明者数831名、一般家屋4411棟中被害を受けた家屋477棟)

【東北大学】
同大学青葉山キャンパスにある工学研究科・工学部にて講義を受ける。

【第一講義】
講師：宮城学院女子大学
心理行動科学科教授 大橋 智樹氏
講義：『大震災以降の危機管理の考え方とヒューマンエラー』



【第二講義】
講師：東北大学大学院工学研究科技術社会システム専攻 教授 高橋 信氏
講義：『これからの原子力を考える』



**第9回 太平洋沿岸
クリーンアップ作戦
奉仕活動に汗を流す**



8月24日、約420人(当協議会員38社253名含む)参加により、尾駈漁港から新川までの約3kmの海岸清掃奉仕に汗を流し、3.7トンのゴミを回収する。

役員交代

当協議会監事「砂川誠」氏が会社青森栄工業(株)人事により、本社へ栄転する運びとなり、当協議会会則に従って、同社人事後任者の「吉田良紀」氏へ10月1日付で引き継ぎとなる。



左：砂川 誠氏 右：吉田良紀氏

親睦ゴルフコンペ開催

10月5日、秋晴の好天の中、26名参加により『下北スリーハンドレットゴルフクラブ』にて開催する。

【成績】
優勝 小野 眞一郎
準優勝 佐々木 正昭
第3位 清水 眞人



村内事業施設見学会開催

12月5日、村内4施設の視察を実施し、会員39企業56名参加。

【(株)ジェイテック
技術訓練センター】
同センターは、プラントの運転、点検、保守・補修等に係る機器類の操作技術の訓練及び新技術の開発拠点として、平成24年12月に竣工し、協力企業の技術習得の場としても広く開放されている。



【エネワンソーラーパーク六ヶ所(株)サイオンと森とエナジー(株)の共同運営による大規模太陽光発電事業所(メガソーラー)】



敷地面積53353㎡、総工費8億円をかけて14336枚の太陽光パネル(国産)ソーラーフロンティア(株)を設置。2013年9月5日から運転を開始し、年間予測発電量240万kWh(一般家庭650世帯分の年間消費電力に相当)売電価格42円/kWh。
[http://eneone.pydata.net/]

【日本原燃(株) 濃縮・埋設事業所
低レベル放射性廃棄物埋設施設】
同社の余剰深度廃棄物埋設施設の調査・検討のための調査坑及び試験空洞(地下100m)へ実際に入坑する。同調査坑は、地質、地下水、地盤を調査し施設建設が可能かを確認している施設である。

放射線廃棄物は「高レベル放射性廃棄物」と「低レベル放射性廃棄物」の2区分に大別され、前者を『地層処分』として後者を『管理型処分』とに分かれ、それぞれ埋設する深度が異なる。地層処分は『高レベル廃棄物(ガラス固化体)』と『低レベル放射性廃棄物(TRU・超ウラン元素)』の2分類に分かれる。管理型処分は放射能レベルにより『浅地中トレンチ処分』『浅地中ピット処分』『余裕深度処分』の3分類となる。

【http://www.jnfr.co.jp/cycle-maisetsu/research/index.html】
《お詫び》
当該施設は保安管理上の問題から写真掲載を控えます。

【(独)日本原子力開発機構 国際核融合エネルギー研究センター】
同センター構内の『IFMFE/VEDA(国際核融合材料照射施設)の光学実証・工学設計活動事業開発実験棟』内における高エネルギー中性子(14MeV)加速器の設置工事見学会と同実験棟の核融合炉開発に向けての役割説明を受ける。
【http://www.jaea.go.jp/04/aamoriba-site/index.html#ifmf-veda】



**インターネット
HPを開設**

1月27日、当協議会の情報発信を目的として、インターネットホームページを『六ヶ所村ホームページ』(「各課ページ」)「商工観光課」内に開設する。
【http://www.rokasho.jp/】

**各種技術支援講座
及び情報交換会開催**

更なる会員の技術・技能向上を図ることを目的として、新たに5つの講習・講座を加え、平成25年度事業活動「表1」技能講習、資格取得講座・技能訓練支援等開催状況及び「表2」会議・情報交換会等開催状況参照を開催する。

表-1 技能講習、資格取得講座・技能訓練支援等開催状況

①技能講習	開催	人数	場所
小型移動式クレーン運転技能講習	平成25年5月31日～6月2日	34	六ヶ所村中央公民館 大石総合運動公園
有機溶剤作業主任者技能講習	平成25年6月22日～6月23日	28	青森原燃テクノロジーセンター
玉掛け技能講習	平成25年6月29日～7月1日	30	六ヶ所村中央公民館
酸素欠乏・硫化水素危険作業主任者技能講習	平成25年9月20日～9月22日	38	青森原燃テクノロジーセンター
②資格取得講座・技能訓練支援	開催	人数	場所
ものづくり基礎基礎講座(1年コース)	平成25年6月8日～12月1日	9	六ヶ所村中央公民館
ものづくり基礎基礎講座(2年コース)	平成25年6月22日～12月15日	10	東北職業能力開発大学校 青森校
溶接講座(下記2講習講座を受講)	平成25年5月15日～9月8日	9	
・アーク溶接特別講習	平成25年5月21日～23日	9	青森県立むつ高等技術専門学校
・溶接講座	平成25年6/15～16、7/6～7、9/7～8	9	青森県職業能力開発大学校
電気工事士資格取得講座	平成25年9月7日～3月16日	10	六ヶ所村中央公民館
制御関連講習	平成25年11月30日～12月15日	10	青森職業訓練支援センター
弁修訓練	平成26年1月18日～1月19日	8	青森原燃テクノロジーセンター
横型ポンプ修繕訓練	平成26年2月8日～2月9日	8	青森原燃テクノロジーセンター
③技術支援マネジメント講習・講演	開催	人数	場所
技術支援基礎講座	平成25年4月17日～19日	26	六ヶ所村文化交流プラザ スワニー
ISO9001 内部監査員養成講座	平成25年9月7日～8日	21	六ヶ所村中央公民館
ISO9001 要求事項解釈コース	平成26年3月1日	31	六ヶ所村中央公民館
マネジメントセミナー・メンタルヘルスケア	平成26年2月19日	65	スパハウスろっかぽっか
マネジメント実務講習	平成26年3月8日	31	六ヶ所村中央公民館

表-2 会議・情報交換会等開催状況

名称	開催日	場所
定期総会	5月22日	六ヶ所村文化交流プラザ スワニー
役員会	4月19日	居酒屋文内(三沢)
第1回	5月14日	六ヶ所村中央公民館
第2回	6月13日	六ヶ所村文化交流プラザ スワニー
第3回	7月10日	六ヶ所村分庁舎
第4回	8月21日	六ヶ所村分庁舎
第5回	9月19日	六ヶ所村分庁舎
第6回	9月30日	Casual French North40-40(三沢)
第7回	10月17日	六ヶ所村分庁舎
第8回	11月20日	六ヶ所村分庁舎
第9回	12月11日	六ヶ所村分庁舎
第10回	1月15日	六ヶ所村分庁舎
第11回	2月19日	六ヶ所村文化交流プラザ スワニー
第12回	3月18日	スパハウスろっかぽっか
会員村内施設視察研修	12月5日	六ヶ所村4事業施設
会員県外施設視察研修	7月25～26日	女川原子力発電所・東北大学
親睦ゴルフコンペティション	10月5日	スリーハンドレットゴルフクラブ
会員懇親会 第1回	5月22日	六ヶ所村文化交流プラザ スワニー
第2回	10月5日	スパハウスろっかぽっか
第3回	2月19日	六ヶ所文化交流プラザ スワニー

